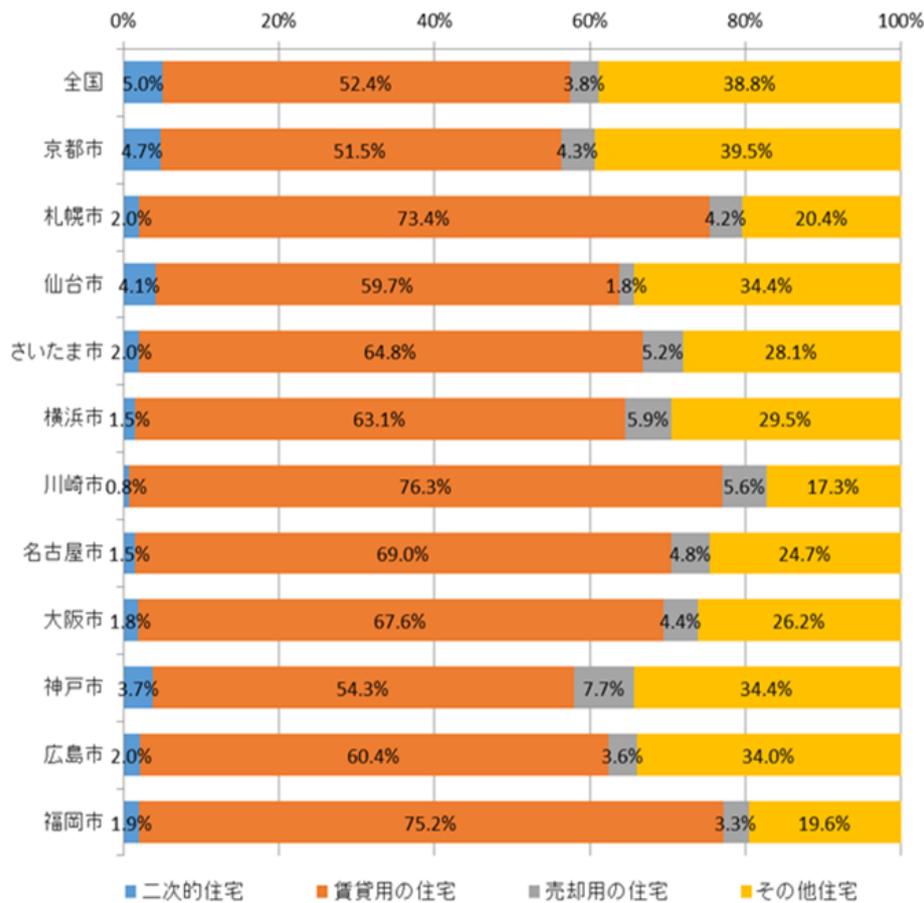


地域連携型空き家流通促進事業の更なる活性化について

1 本市の空き家の現状と課題 (1) 25年度住宅土地統計調査

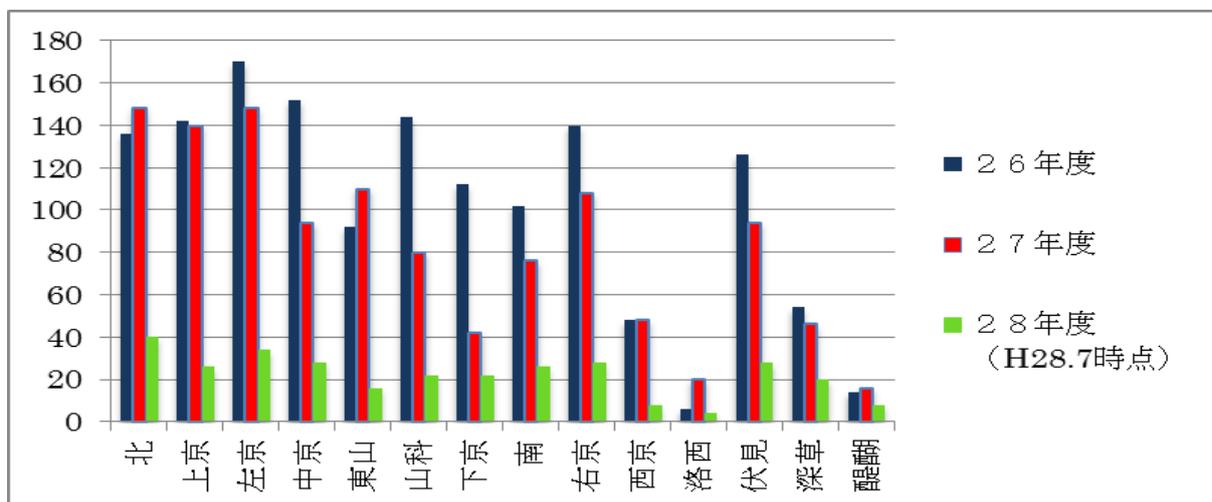


空き家所有者に対する積極的な意識啓発や活用に向けた働きかけが喫緊の課題

「その他」が多い
=活用意向がない
空き家が多い。

(2) 管理不全空家通報件数

○行政区別データ



○管理不全事例



管理不全として通報を受けるケースは、倒壊寸前の物から樹木の繁茂まで様々であるが、いずれも、良好な生活環境に支障を与えている。

【課題】

- ・ 空き家所有者の管理者意識が希薄になってきたこと
- ・ 安心かつ安全な生活環境が阻害されること



空き家を若者世代の入居に結びつけるなど積極的に活用することによって、人口増、地域の活力増進という好循環に転回させる。
＝ピンチをチャンスに！

2 本市の取組

(1) 意識啓発, 空き家化の予防

○おしかけ講座

空き家の予防につながる相続に関するミニ講座の開催

○地域連携型空き家流通促進事業

地域で行う空き家の防止に関する活動を支援

(2) 活用・流通の促進

地域の空き家相談員, 専門家派遣, 空き家活用・流通支援等補助金

(3) 跡地の活用

密集市街地の跡地活用

3 今後の空き家対策の充実策

(1) 地域連携型空き家流通促進事業の見直し

空き家活用の大切さに気付いてもらうきっかけづくりに、自主防災会の取組の一環として、講座の受講やまち歩きによる空き家調査、空き家マップ作成などを軸とした事業に見直し

(2) 地域の空き家相談員等の専門家との連携

地域の空き家相談員や司法書士, 建築士などの専門家と連携して、空き家調査や所有者への働きかけなどを通じて、地域において空き家を適正に管理する意識の醸成につなげる。



安心かつ安全な生活環境の確保